

## 第 32 回建設業経理士 1 級財務分析 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。  
問 1

指数法とは、数個の分析比率を選択し、このウェイト付けされたポイントの合計が 100 となるようにした標準比率を定め<sup>☆</sup>、これと分析対象の比率を比較して点数化し、100 を上回るか否かによって<sup>☆</sup>、経営の良否を総合的に判定する方法である。これは、ウォールの開発した手法で、あえてウォール指数法といわれることもある<sup>☆</sup>。指数法では、評価指数の合計が 100 を上回れば良い評価とするが<sup>☆</sup>、分析にあたっては、採用する分析比率とそのウェイト付け、標準比率の妥当性が必要であり、そこに恣意性が介入しないよう留意しなければならない<sup>☆</sup>。

問 2

経営事項審査では、経営状況を分析した結果は Y 評点と呼ばれ、負債抵抗力、収益性・効率性、財務健全性、絶対的力量の 4 つの観点からそれぞれ 2 つずつ、計 8 つの指標をもとに<sup>☆☆</sup>、建設会社の経営状況が総合的に分析される。それぞれ算出した指標に対しては、定められた係数（ウェイト）を掛け、それらを合計して評点を求めることになっており<sup>☆</sup>、総合評価の手法のうち、考課法の考え方が用いられているのが特徴である<sup>☆</sup>。また、建設業における経営事項審査では、多変量解析法によって評点を算出しているところにも特徴がある<sup>☆</sup>。

予想採点基準

☆の前の文の内容が正解で  
☆… 2 点 × 10 = 20 点

〔第2問〕

記号 (ア～ハ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
オ	ナ	サ	タ	チ	キ	ス	シ	ノ

★ ★ ★ ★ ★ ★ ☆ ★ ☆

10	11	12	13
ニ	エ	ネ	ヘ

★ ★ ★ ★

予想採点基準

☆… 2点 × 2 = 4点

★… 1点 × 11 = 11点

合計 15点

〔第3問〕

(A) ☆  百万円 (百万円未満を切り捨て)

(B) ☆  百万円 (同 上)

(C) ☆  百万円 (同 上)

(D) ☆  百万円 (同 上)

支払勘定回転率 ☆  回 (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

予想採点基準

☆… 4点 × 5 = 20点

〔第4問〕

問1 ☆  % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

問2 ☆  千円 (千円未満を切り捨て)

問3 ☆  千円 (同 上)

問4 ☆  % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

問5 ☆  千円 (千円未満を切り捨て)

予想採点基準

☆… 3点 × 5 = 15点

〔第5問〕

問1

- A 経営資本営業利益率 ☆  % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)
- B 立替工事高比率 ☆  % ( 同 上 )
- C 運転資本保有月数 ☆  月 ( 同 上 )
- D 借入金依存度 ☆  % ( 同 上 )
- E 棚卸資産滞留月数 ☆  月 ( 同 上 )
- F 完成工事高増減率 ☆  % ( 同 上 ) 記号(AまたはB)
- G 営業キャッシュ・フロー対流動負債比率 ☆  % ( 同 上 )
- H 配当率 ☆  % ( 同 上 )
- I 未成工事収支比率 ☆  % ( 同 上 )
- J 労働装備率 ☆  千円 (千円未満切り捨て)

問2

記号 (ア～ヤ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
カ	ソ	エ	ム	チ	ア	シ	キ	オ	フ
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

予想採点基準	
☆	… 2点 × 10 = 20点
★	… 1点 × 10 = 10点
合計 <u>30点</u>	